

平成29年度 第1回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 次第

日 時 平成29年8月2日(水)
10:00～10:20

場 所 本庁舎4階 政策会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

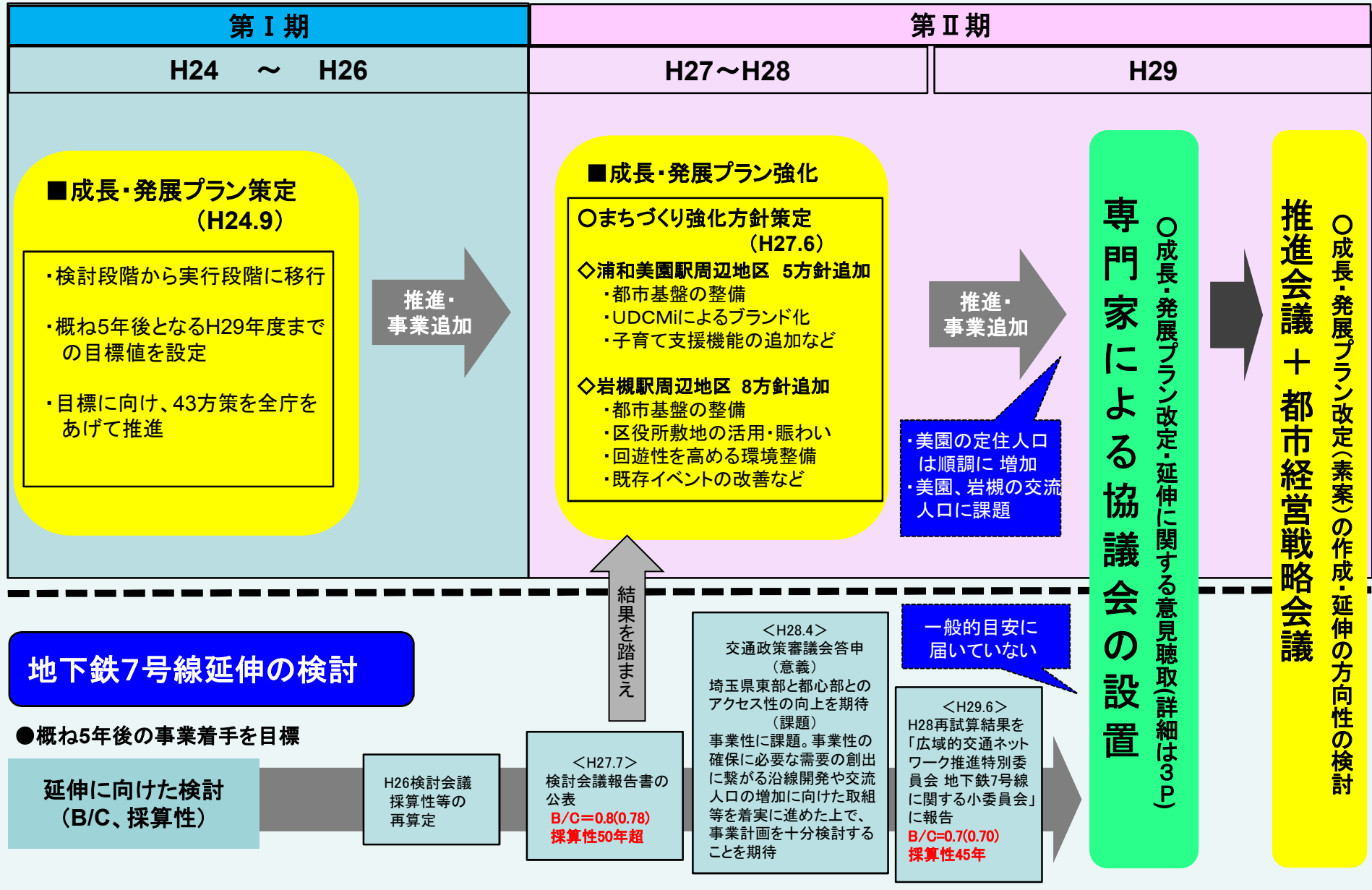
(議題)

- (1)浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの推進経緯と今後の進め方について
- (2)浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの達成状況について
- (3)浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン改定・延伸に関する意見聴取について

4 閉 会

(1) 浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの推進経緯と今後の進め方について

浦和美園～岩槻地域の成長・発展



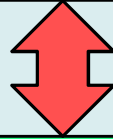
(2) 浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの達成状況について

地区	評価指標	基準値 (H23年度)	H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	概ね5年後の 目標値 (H29年度目標値)	
浦和美園駅周辺	定住人口 ・浦和東部第二地区(H29.2事業完了) ・岩槻南部新和西部地区(“ ”) ・浦和東部第一地区(施行中) ・大門下野田地区(施行中)	(単位:人) ■計画 ■実績 8,000 7,000 6,000 5,000 4,000	4,135	4,766 5,003	5,100 5,566	6,100 6,334	7,100 7,531	※実績は 各年度 1月を基準 約 4千人超増 H29目標 約 8,100人 H28実績 7,531人 差 569人
	交流人口	商業・業務 施設来訪者	—	施設誘致推進中				約 8千人/日超増
		教育施設 学生	—	施設誘致推進中				約 1千人/日超増
		イベント開催 ・キッチンカー ・埼玉サブグラ ウンドの利用等	1年間当り 約 424千人	約 339千人	約 399千人	約 432千人	約 380千人	年約 30千人超増 H29目標 約 454千人 H25～28実績(平均) 388千人 差 66千人
		スポーツ振興 ・埼玉スタでのレッズ戦 (Jリーグ他) 年間約20試合	1試合当り 約 29千人	約 34千人	約 35千人	約 38千人	約 37千人	約 13千人超増 H29目標 約 42千人 H25～28実績(平均) 36千人 差 6千人
岩槻駅周辺	交流人口	—	拠点施設事業推進中				約70千人超増 人形博物館着工(H29.12)	
	イベント開催 ・岩槻まつり ・鷹狩り行列等	1年間当り 約 451千人	約 441千人	約 504千人	約 492千人	約 471千人	約 30千人超増 H29目標 約 481千人 H25～28実績(平均) 477千人 差 4千人	

(3) 浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン改定・延伸に関する意見聴取について

浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議(作業部会)

プラン改定素案検討



○まちづくりと鉄道を合わせて意見聴取

延伸協議会
地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)

まちづくり分科会

- ◆成長・発展プランの達成状況と効果について
- ◆成長・発展プランの改定について
 - ・目標、プランのサイクル、方向性等

鉄道分科会

- ◆延伸計画について
- ◆概算建設費について
- ◆需要予測について



意見取りまとめ

◆協議会委員(案)

まちづくり分科会

瀬田史彦(東京大学准教授)
久保田 尚(埼玉大学大学院教授)
山下 智史(JTBチーム担当マネージャー)
吉田 育代(日本経済研究所上席研究主幹)
山崎 明弘(埼玉県地域政策局長)
岡崎 繁(さいたま市都市戦略本部理事)

鉄道分科会

伊東 誠(運輸総合研究所 主席研究員)
金子 雄一郎(日本大学教授)
椎本 隆美(鉄道建設・運輸施設整備支援機構)
福田 大輔(東京工業大学准教授)
山崎 明弘(埼玉県地域政策局長)
岡崎 繁(さいたま市都市戦略本部理事)

平成 29 年度 第 1 回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 議事概要

1. 日 時：平成 29 年 8 月 2 日（水） 10：00～10：20
2. 会 場：さいたま市役所 4 階 政策会議室
3. 出席者：（座長）清水市長 （副座長）遠藤副市長、日野副市長
（委員）技監、都市戦略本部長、都市戦略本部理事、財政局長、スポーツ文化局長、環境局長、経済局長、都市局長、建設局長、見沼区長、緑区長、岩槻区長

4. 議事概要

（1）あいさつ（座長）

- ・浦和美園～岩槻地域の成長・発展については、全庁的な連携体制のもと「成長・発展プラン」が、着実に推進されているものと感じている。
- ・成長・発展プランは、本年度は第Ⅱ期の最終年度になっており、成果の検証や第Ⅲ期以降に向けたプランの見直し等、大切な 1 年である。
- ・成長・発展プランの推進は、地下鉄 7 号線の延伸実現にも繋がる事業であり、東日本の中核都市を目指す本市にとっても大変重要な取組である。
- ・本日は、これまでのプランの達成状況等を踏まえ、本年度の協議の進め方などについて、議論をしたい。

（2）事務局説明

- ①浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの推進経緯と今後の進め方について
- ②浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの達成状況について
- ③浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン改定・延伸に関する意見聴取についてを一括して説明。

（3）議事に関する意見交換

- ・地下鉄 7 号線延伸について、各駅停車運行に対して追い越しをしない快速運行の実現性はあるのか。
- ・快速運行は事務局がケーススタディとして想定した分析である。
- ・現在、埼玉高速鉄道がピーク時で 1 時間 16 本運行している。その内の 3 本について、追い越しをしない快速列車の導入を想定している。課題としては、快速運行により既設の駅の中で停車しない駅が出てきてしまうことであり、地域等の理解や調整が必要となる。
- ・快速運行の実現に向け追求していくということによろしいか。
- ・川口市、埼玉高速鉄道、東京メトロと共に快速運行の実現に向け追求していきたいと考えている。
- ・快速運行は B/C（費用便益比）に大きく影響するのか。

- ・速達性つまりスピード及び料金が B/C に特に大きく影響する。
- ・オフピーク時についても 1 時間 3 本の快速運転を想定しているのか。
- ・オフピーク時、ピーク時共に 3 本を想定している。
- ・快速運行区間は赤羽岩淵駅までで、東京メトロ区間は各駅停車ということによるのか。
- ・延伸線と既設の埼玉高速鉄道線区間を快速運行区間と想定している。
- ・概算建設費については、オリンピック後の建設コスト減少を考慮に入れていないのか。
- ・オリンピック後の建設コスト減少は考慮に入れていない。まずベースにしているのが平成 23 年度の検討委員会時の建設費用 770 億円で、建設費から物価上昇を見て試算した結果が平成 26 年度の 870 億、そこから昨年度コスト縮減の検討を行い、20 億の縮減が可能であるという調査結果である。
- ・平成 23 年度に設定している需要予測が 5、6 年経過して機関分担が変わっていると思うが、需要予測の立て方についても協議会の中で検討していくのか。
- ・平成 29 年度の協議会での検討においては、国勢調査等の最新のデータを反映できるかどうかを確認し、反映出来れば新たな結果に変わってくると考える。

(4) 議題について

- ①～③の議題については承認

(5) 座長より会議の総括(今後の取組方針)

- 関係局においては、今年度、推進中の事業を着実に推進し、成果をあげるとともに、予算編成に向け企画をしっかりと精査し、平成 30 年度予算に反映すること。
- 成長・発展プランの改定にあたり、関係局は、地下鉄 7 号線延伸協議会の意見を取り入れるなど、新たな視点で、効果的な方策・事業を積極的に提案すること。
- 特に、中間駅周辺を含めた沿線のまちづくりについては、引き続き、関係局が連携し取り組むこと。
- 本日出席の局長、区長は、関係する所管の作業部会の委員にこの取組方針をしっかりと伝え、庁内の連携に努め、積極的に検討するよう指示すること。

【事務局】都市戦略本部 東部地域・鉄道戦略部